

STEM REPORT コスモ PA 2020.8.20 THU

8月20日（木）午前、コスモサイエンスコース2年生 第2回PAとして

Tsukuba Science Tour①「筑波大学 TARA センター」を実施しました。

今年は大変残念なことに、つくば市での現地宿泊研修が難しくなっていました。

それでも各研修先の先生方は、遠隔研修を快諾してくださいました。さっそく第1弾です。

筑波大学生存ダイナミクスセンター教授 小林 悟（こばやしさとる）先生と Zoom でつなぎ「ショウジョウバエの生殖細胞の発生を制御する遺伝子群」というテーマで講義していただきました。

『研究者はマインドとスキルでできている』を軸に発生遺伝学研究の真髓を語っていただきました。「研究のスタートからゴールまでの行き方（考え方）は何とおりもある」まず、先生ご自身の研究者としてのマインドが紹介されます。そして、極細胞質中のミトコンドリア RNA の挙動解明、生殖細胞に分化するためのタンパク質・遺伝子の特定…仮説と検証という視点で丁寧な説明が続きます。途中、対照実験の重要性、統計学的検定の重要性、実験結果の検証法も。最後にスキルを動画で紹介。顕微鏡をのぞきながら $10\mu\text{m}$ のショウジョウバエの卵をきれいに並べ、注入や吸引を行います。あまりの緻密さに会場からため息がもれていました。小林先生ありがとうございました。

研究は小説“パラサイト・イブ”にも波及

そして“悪魔の証明”をみんなで考え中

スキルは大学に入ってからでも身につきますか？

受講生の声：研究するだけでなく、結果をよく調べ、自分の出した結果を疑うことも大切。

スタートからゴールまでは、最短で最速がいいと思ってきた。遠回りをしたら損をすと思っていたが、ゴールの先の新たな発見のためには重要なことだと分かった。スキルがあるからやるのではなく、やりたいことのためにスキルを習得するという言葉が印象に残った。